

# キャンパス散策（北陸大学）



**北陸大学**  
HOKURIKU UNIVERSITY

## 建学のなりたち

創設者・初代理事長の林屋亀次郎先生は、我が国に真に必要なものは、報恩感謝の念に基づき、真理と正義を愛する個性豊かな人間であるとの信念から、学校法人北陸大学の創設を天命とし、全てを注ぎました。

金沢が加賀前田藩の時代より医学・薬学の研鑽が深いことから、初代学長三浦孝次先生を中心に総合大学のまず第一歩として薬学部を設置し、「自然を愛し、生命を尊び、真理を究める」人間の形成を建学の精神とし、1975年4月、金沢市金川町にて北陸大学薬学部の教育が始まりました。

1987年には、太陽が丘キャンパスを拓いて外国語学部を、1992年には法学部を設置しました。更に、2004年には、優れた語学力、確かな法律知識、幅広い教養を備えた真の国際人を養成するため、外国語学部・法学部を発展的に刷新・統合して未来創造学部を設置しました。



太陽が丘キャンパス

## 薬学部

この数年、全国的に多くの薬学部が乱立するなか、本学薬学部は北陸地方の薬剤師養成の拠点として、着実にその役割を果たしてきました。2006年からスタートした6年制薬学部は現在学年進行中ですが、従来の薬学部と比してその使命・役割は明確です。すなわち、「臨床に係る実践的な能力をもつ薬剤師」の養成であり、更に専門的な能力を身に付け医療界に貢献することが期待されています。本学薬学部は、北陸地方の医療界、病院や薬剤師会等の協力をいただき、まずこの使命を確実に達成しそれを継続していきます。なお、5、6年次生には本学が特色とするコース別演習があります。それは、東洋医薬学コース、健康医薬学コース及び高度医療薬剤師コースの3コースに分かれ、それぞれの分野の、より高度で専門的な知識を学びます。いずれも将来必要となる能力であり、高い実践的能力や先進的知識を持つ薬剤師を養成することによって、地方の薬剤師養成拠点として貢献していきます。



薬学アネックスファーム

## 未来創造学部

2004年にスタートした未来創造学部は、グローバルアイの精神のもと、国際マネジ

メント学科、国際教養学科の両学科とも英語または中国語のコミュニケーション能力と、国際的な視野を身に付けることが基本にあります。中国を始め海外研修の機会も多くあります。そのうえで国際教養学科は、文字通り幅広く豊かな教養を身に付けます。国際マネジメント学科は、法律知識を踏まえて国際社会におけるマネジメント学を学びます。両学科とも、各学年に演習又はゼミナルをおき、担当教員と相互にかつ日常的に対話しつつ4年間を送り、人間形成に努めるとともに、個性に応じた進路指導を行います。

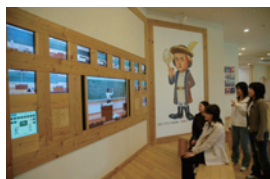
また、2007年には、未来のサッカーを創造する力を備えたプレーヤーや指導者を養成するスポーツエリートアカデミーサッカーIを新設しました。

## インターネット学習システム RVES（アルベス）

学生の学ぶ意欲・向上心に応えるため、本学では、Real Video Education System; RVES（アルベス）を導入しています。

アルベスは教室での講義をビデオ収録し、インターネット上に配信することにより、学内だけでなく、自宅、寮、アパートで、自分の都合に合わせて何度でも繰り返し講義を視聴することが可能です。

アルベスと並行して、e-ラーニング、オンデマンド教育を更に充実させるため、サイバーキャンパス構想を進めています。学生全員が最新の情報環境で次世代型の教育を体感できることはもちろん、学内ネットワークとインターネットを通じて、国内外の大学との連携や社会人教育の実施等、幅広い層を対象とした教育の展開を進めています。



アルベス

## 日本最大規模の実験科学棟

2005年に薬学キャンパス内に建設された「実験科学棟」は、鉄筋平屋建て、面積は6242平方メートルで、専門分野に分かれた200人規模の実習室が7室あり、同時に1400人の実習が可能な大規模施設です。

エントランスを抜けると、幅3メートル、長さ100メートルの「哲学の道」が広がり、大学のマスコットキャラクターであるアインシュタイン博士たちが出迎えてくれます。最新の施設で思う存分に実験に励み、講義で学んだ内容を身体で理解することができます。

広々とした実習室では、大勢の学生たちが最先端の器具や装置を使って実験実習に取り組んでいます。各部屋は天井が高く開放的な空間として設計されています。



実習風景（実験科学棟）

## ほがらか薬局

北陸大学には、実験科学棟内にある「北陸大学附属ほがらか薬局」と隣接する太陽が丘の「北陸大学附属太陽ほがらか薬局」の2つの薬局が設置されています。これらの薬局は、他大学に見られる模擬薬局ではなく、正規の保険薬局です。実習施設内に設置したり、2つの薬局を持っているのは全国の薬学系大学の中で北陸大学だけです。

日々薬局として処方箋による調剤や一般薬の販売を行っており、学生や地域住民のかかりつけ薬局として活用されています。

また、学生は外部の病院や薬局などへ実習に出る前にここで実習します。勤務している薬剤師は病院や薬局で長年の経験を積んだ先輩であり、その姿は生きた教科書として学生たちに多くの事を伝えてくれます。何よりも自分たちが学ぶすぐそばで薬剤師が働いている環境は、実習前の学生にとっても刺激となって、薬剤師という職業がどんなものなのか実感できるよい教材になっています。



ほがらか薬局

## 国際交流

「Global Eyes」を合言葉に、積極的な国際交流を推し進め、世界の57校と姉妹校・友好校協定を締結しています。常に海外に目を向け、国際社会で役立つ人材を育成するため、1年間の長期留学、半年間の Semester 留学、1ヵ月間の短期留学、1週間から10日間程度のグローバルプログラムなどさまざまな海外留学制度があり、これまでに延べ4700人以上の学生がこれらの制度を利用して海外を体験しています。各国の歴史・文化・自然に触れ、現地の学生たちと交流することで、必ず学生の世界観が広がります。

また、夏休みの約1週間を利用して行われる「平成遣中使」は、中国姉妹校の学生との交流をはじめ、各地を歴訪したり、中国の医療環境を視察するもので、本学学生以外にも高校生、高校教員、公開講座受講生などが参加します。中国文化の奥深さと歴史のつながり、伝統を残す中国とめまぐるしい発展を遂げる中国を体感し、学生に見聞を広げてもらうことを目的としています。



国際交流センター



海外留学



平成遣中使